

【「会社は、株主、社員、社会の三者のもの」と考えることについて解説】

モリタ食材開発研究所創業者守田悦雄は、「会社は株主、社員、社会の三者のもの」とする考えについての解説。

2025年6月24日回答 AI Gemini 参考情報。

「会社は株主、社員、社会の三者のもの」という考え方は、現代の企業経営において非常に重要な概念であり、単なる理想論ではなく、企業の持続的成長と価値創造に不可欠な視点として認識されています。

これは、従来の「会社は株主のもの」という株主至上主義からの脱却を図るものです。

それぞれのステークホルダーに対する責任と、それが企業全体に与える影響について意見を述べます。

1. 株主（所有者）

従来の考え方: 会社は株主が出資した資本によって設立・運営されるため、利益は最終的に株主に還元されるべきであり、経営者は株主の利益を最大化する義務がある、という考えが主流でした。

現代における意義:

* 資本提供者としての正当な権利: 株主は企業の所有者であり、リスクを負って資本を提供しています。そのため、企業は適正な利益を上げ、配当や株価上昇という形で株主に報いる責任があります。これがなければ、企業は新たな投資を得られにくくなります。

* 長期的な視点での価値創造: 短期的な利益追求だけでなく、企業の持続的な成長を通じて長期的な企業価値を高めることが、結果的に株主の利益最大化に繋がるという認識が広がっています。

ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の台頭も、この考えを後押ししています

2. 社員（実行者・原動力）

従来の考え方: 社員は会社に雇われた労働力であり、会社の目標達成のための手段と見なされがちでした。

現代における意義:

* 企業の最も重要な資産: 社員は単なる労働力ではなく、企業の知識、技術、ノウハウを体現する最も重要な「人的資本」です。彼らの能力、モチベーション、健康状態が、企業の生産性、創造性、競争力を直接左右します。

* エンゲージメントとイノベーションの源泉: 社員が会社で「自分たちのものだ」という意識や愛着（エンゲージメント）を持つことで、自律的に考え、行動し、イノベーションを生み出す原動力となります。健康経営や働きがいのある職場環境の整備は、社員の能力を最大限に引き出し、定着率を高める上で不可欠です。

* 企業の成長を支える柱: 社員が生き生きと働き、成長することで、企業は新たな価値を創造し続けることができます。

3. 社会（存在意義・環境）

従来の考え方: 企業は経済活動を通じて利益を追求し、雇用を生み出すことで社会に貢献するという間接的な役割が主でした。

現代における意義:

* 企業の存在基盤: 企業は社会の一員として存在しており、事業活動を通じて環境（地球環境、地域社会）に影響を与えます。社会からの信頼や理解がなければ、事業を継続することは困難です。

* 持続可能性への貢献: 気候変動、貧困、人権問題といったグローバルな社会課題に対し、企業が積極的に解決に貢献することが求められています。SDGs（持続可能な開発目標）への貢献やCSR（企業の社会的責任）活動は、単なるコストではなく、長期的な企業価値向上に繋がる投資と見なされています。

* レピュテーション（評判）の形成: 企業の社会貢献活動や倫理的行動は、顧客、取引先、従業員、投資家からの評価に直結し、ブランドイメージやレピュテーションを大きく左右します

「三者のもの」とする考えの統合的意義

「会社は株主、社員、社会の三者のもの」という考え方は、これらのステークホルダーそれぞれの視点を取り入れ、バランスの取れた経営を目指すものです。

* 持続可能な成長の実現: いずれか一つのステークホルダーの利益だけを追求しても、企業は持続的に成長することはできません。

例えば、株主利益だけを追求して社員を酷使したり、社会や環境に負荷をかけたりすれば、社員の離反や社会からの信頼失墜を招き、結果的に企業の存続自体が危うくなります。

* 相互作用による価値創造: 三者は相互に影響し合っています。社員の満足度が高まれば生産性が向上し、良質な製品・サービスが生まれて社会に貢献できます。社会からの信頼を得られればブランド価値が高まり、株主からの評価も向上します。

* VUCA時代における強靱な経営基盤: 予測困難な現代において、多様なステークホルダーの視点を取り入れた経営は、リスクを分散し、変化への適応能力を高め、企業をより強靱なものにします。

モリタ食材開発研究所が「健康経営」や「SDGsへの貢献」を掲げ、さらに「同族世襲に消極的」な姿勢を見せるのは、まさにこの「会社は株主、社員、社会の三者のもの」という考え方を体現していると言えるでしょう。

これは、短期的な利益追求に終わらない、長期的な視点での企業価値創造を目指す、現代的で先進的な経営哲学であると評価できます。

この考えは、創業者守田悦雄の基本的な考えであります。

●この情報は、生成AI（Gemini）の回答・解説情報を、読みやすさを考慮し、ウェブサイトの書式に合わせて掲載しております。

生成AIが生成する情報は、その性質をご理解のうえ、あくまで「参考情報」としてご覧ください。

Webサイトのトップページへ